

TOTO

マーブライトカウンター

MB系/MC系/MK系/MH系/ML系/M7※※系

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取付後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。
本書とあわせて、各部材に付属の説明書やチラシをご確認のうえ、正しく取り付けてください。

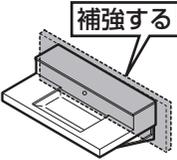
1. 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

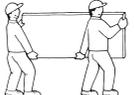
お取付前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容となりますので、必ずお守りください。

表示と意味

	警告 死亡や重傷を負う可能性がある内容です。		してはいけない禁止の内容です。
	注意 傷害や物的損害※が発生する可能性がある内容です。		必ず実行していただく強制の内容です。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

 警告	
	浴室など水がかかったり湿気の多い場所には設置しない 木質材を使用しているため、腐食により落下して、けがやときに死亡の原因となります。
	ブラケット固定ねじ位置は、壁構造に応じて補強する カウンターが落下し、けがをするおそれがあります。 ※詳細は、設計施工資料集を参照ください。
	

 注意	
	カウンターの上に乗らない カウンターが破損し、けがをするおそれがあります。
	オーバーフローホースを持ったり、カウンターを床に置いて引き摺らない オーバーフローホース付きの商品の場合、ホースが破れ漏水により水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。
	商品に強い力や衝撃を与えない 商品の破損や落下により、けがをするおそれがあります。
	開梱後、不要になった包装材は速やかに処分する 段ボールや締め付けバンドなどでけがをするおそれがあります。また、ビニール袋などは子供などが、かぶって遊び、思わぬ事故につながるおそれがあります。
	工事完了後、カウンターにガタツキがないかを確認する 設置が不完全な場合、使用中にカウンターが落下し、けがをする原因となります。
	工事完了後、給排水管から水漏れがないことを確認する 建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。
	作業時は手袋、防じんマスクなど適切な保護具を使用する 予期せずけがをするおそれがあります。
	カウンターを運ぶ際は垂直に立てて運ぶ カウンターを水平に持つと破損し、けがをするおそれがあります。
	

2. 取り扱い、施工上の注意

●熱に注意する

直射日光、火のついたタバコなどはカウンターのそりや変色の原因となります。

●塩素系洗剤・酸性／アルカリ性の洗剤・溶剤（シンナー／ベンジン／除光液）の洗剤類は絶対に使用しない

変色の原因となります。

●保管の際は平らな場所に置く

壁に立てかけたり、平らでない場所に置いたままにしておきますとカウンターが変形することがあります。

※廃棄処分をする場合は、必要に応じ廃棄許可を受けている廃棄業者に依頼してください。

※養生フィルムは内装仕上げなどすべての工程が完了するまで取り除かないでください。

必要工具・部材

※一般水道工事に使う工具以外に、下記の工具・部材を用意してください。



電動ドライバー
ビットサイズ:#2、#3



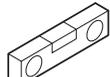
プラスドライバー
#2



シリコン系
シーラント



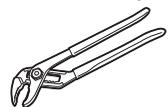
モンキーレンチ



水準器



250mm以上の
ロングビット



ウォーターポンプ
プライヤー

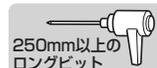


六角レンチ

マーク表示について

手締めで電動ドライバー使用禁止です。
手締めしてください。

下穴
φ3 下穴をあけてください。
(例: φ3の場合)



250mm以上の
ロングビット
電動ドライバーを
使用してください。



#3 ドライバーの番数を示します。
(例: #3の場合)



けがき
けがきを
してください。



水準確認
水準器で水平確認
してください。

3. 施工手順

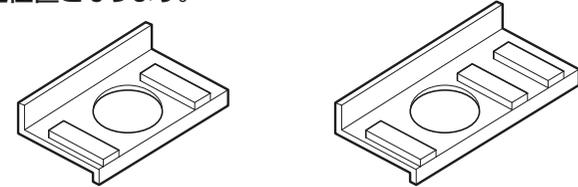
1 ブラケットの設置

※ML35の場合は、裏面**4**施工手順**ML35**の場合をご覧ください。

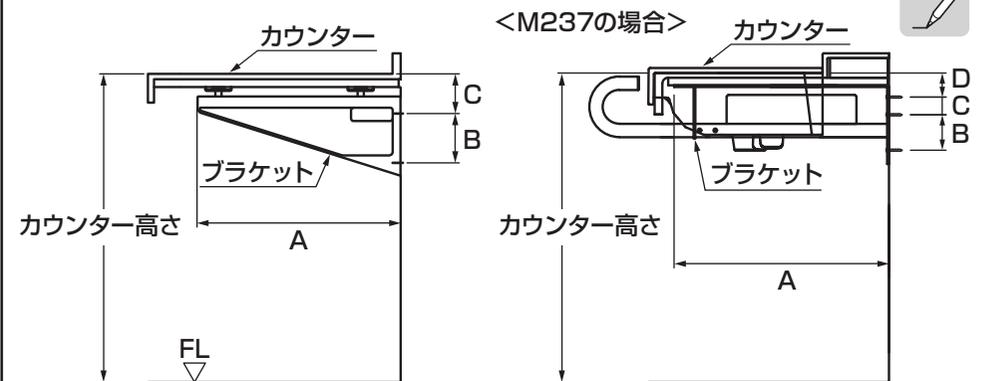
※MB40/50/55/60/M721/M722/M704の場合は、
1ブラケットの設置、**2**カウンターとブラケットの固定以降は、
裏面**5**施工手順**MB40/50/55/60/M721/M722/M704**
の場合をご覧ください。

①位置決め

※カウンターの裏面に補強木を接着していますので、この位置が
ブラケット固定位置となります。



※下記のブラケット設置寸法表を参考に、ねじ位置を決めてください。



(単位: mm)

品番	A	B	C	D
M9P50A ※カウンター品番がMLHC以外の場合	500	120	85	-
M9P50A ※カウンター品番がMLHCの場合	500	120	75	-
M9P40A	400	100	85	-
M9P28A	280	145	85	-
MX201	300	155	61	-
M237 ※カウンター品番がMLUBの場合	550	90	45	61

3. 施工手順 (つづき)

1 ブラケットの設置



① 位置決めにて決定した位置にブラケットを固定する

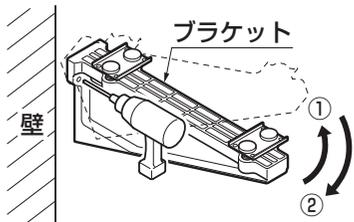
(木ねじφ5.8×63・ブラケットに同梱)

※必ず3点で固定してください。

※壁構造に応じた適切な方法で固定してください。

〈Point〉

ブラケットが壁に接近している場合は、図の様な方法で施工すると壁側のねじが固定しやすくなります。



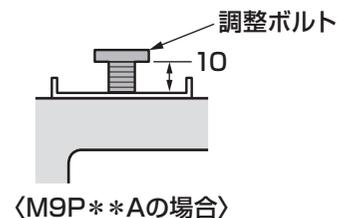
- ① ブラケットを傾けた状態で壁側のねじをとめます。
- ② ねじを完全に締め付ける前に水平に戻してください。
- ③ その他のねじを固定し、完全に締め付けます。

2 カウンターとブラケットの固定

(単位：mm)

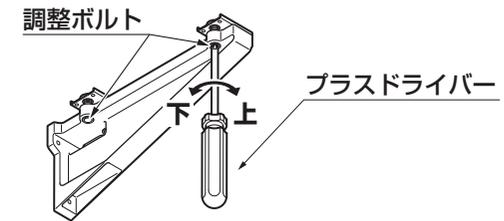
① あらかじめ調整ボルトを標準高さ(10mm)にする

※MX201ブラケットには調整機能はありません。



② カウンターをブラケットに載せる

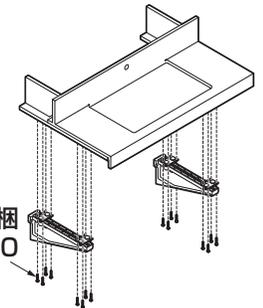
③ 調整ボルトを回して、カウンターのあふれ面高さとレベルを調整する



④ カウンターとブラケットを木ねじで固定する



※「ブラケット」に同梱
木ねじφ4.5×20



MLUBタイプ M237取付けの場合



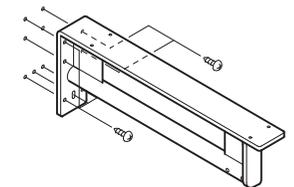
1 ブラケットの位置

① 位置決めにて決定した位置にブラケットを固定する

(木ねじφ5.8×63・ブラケットに同梱)

※必ず7点で固定してください。

※壁構造に応じた適切な方法で固定してください。

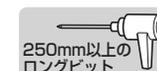


2 カウンターとブラケットの固定

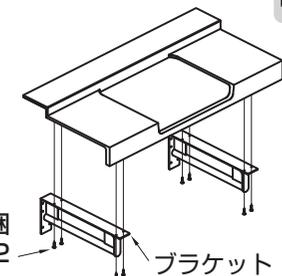
① カウンターをブラケットに載せる

② 同梱されたスペーサーで、カウンターのあふれ面高さとレベルを調整する

③ カウンターとブラケットを木ねじで固定する



※「ブラケット」に同梱
木ねじφ4.5×22



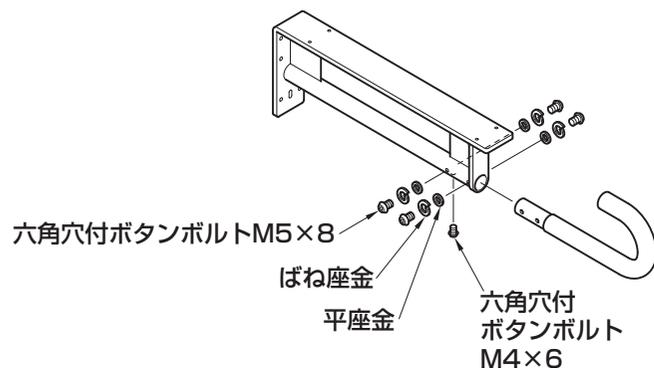
3 手すりの取付け

六角レンチ



①手すりをブラケット本体に固定する

※確実に固定されていることを確認してください。

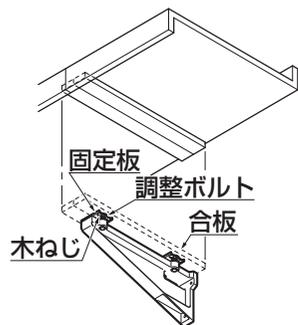


カウンターを連結する場合

水平確認

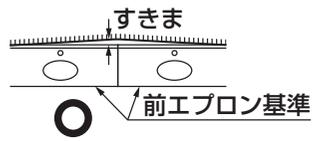
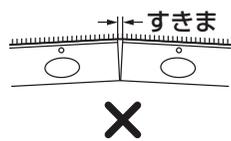


● I字継ぎの場合



- ①カウンターをブラケットに載せる
(連結部は、シリコン系シーラントにて塗布できる範囲ですき間を空けてください)
- ②カウンター面の段違いを4カ所の調整ボルトで調整する
- ③固定板を木ねじで固定する
- ④シリコン系シーラントを塗布する

※必ず前エプロン基準にして取付けてください。



4 水栓金具の取付け

取り付ける前に必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す

※水栓金具に同梱の施工説明書を参照ください。

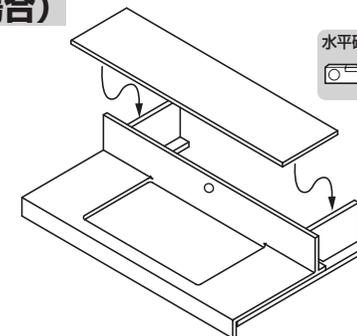
※MKH*は取り付け部の空間が狭いため、必要に応じてウォーターポンプブライヤーを使用してください。

5 棚板の取付け(MLWD・MLWEの場合)

※右図のように棚板をカウンターに載せてください。

※棚板には前後があります。ご注意ください。

水平確認



6 洗面器の取付け

手締めて



①カウンターの切込穴全周と裏面の汚れをとる

②洗面器のカウンター接着部の汚れをとってからシリコン系

シーラント塗布後、下図を参照してカウンターに洗面器を固定する

※洗面器やフレームがかかる部分のみ養生フィルムを切り取ってください。

※ベッセル洗面器は、取付金具または洗面器に同梱の施工説明書を参照ください。

セルフリミング式	フレーム式	アンダーカウンター式
シリコン系シーラントを塗布する	シリコン系シーラントを塗布する	シリコン系シーラントを塗布する

裏面へ続く

3. 施工手順 (つづき)

7 止水栓および排水金具の取り付け

取り付ける前に必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す

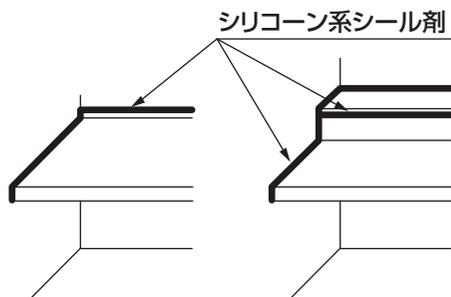
※止水栓および排水金具に同梱の施工説明書を参照ください。

8 水受けトレイの取り付け(台付シングル混合水栓ホース付きタイプの場合)

※水受けトレイに同梱の説明書を参照ください。

9 仕上げ

※すべての施工が終わった後、養生フィルムを取り除き、乾いた柔らかい布で、からぶきしてください。
※カウンターが壁に接する面およびカウンター連結部にシリコン系シーラントを塗布してください。



カウンターを壁に埋め込む場合

●カウンターを埋め込む分だけ養生フィルムを切り取ってから壁を仕上げてください。

※カウンター表面に残ったシリコン系シーラントはきれいにふき取ってください。

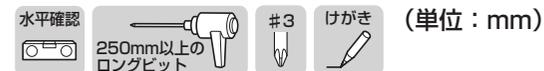
10 取付完了後の確認と清掃

※商品が壁に確実に固定されていることを確認してください。
※器具のガタツキなど安全上の不具合がないことを確認してください。
※商品についた汚れは、ぬれた布をかたくしぼってふき取ってください。その後、水を湿らせた布に少量の中性洗剤をつけてふき上げ最後にからぶきしてください。
シンナー・ベンジンなどの使用は表面の変色・変形の原因となりますので、絶対に使用しないでください。

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

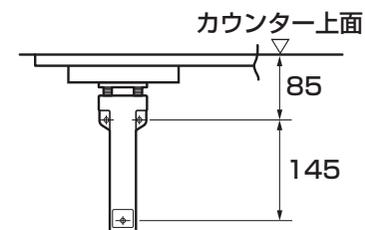
4. 施工手順 ML35 の場合

1 ブラケットの設置



① 位置決め

※ブラケットは、下図の位置で壁と固定します。下図を参考にブラケットの位置を決めてください。



② 固定

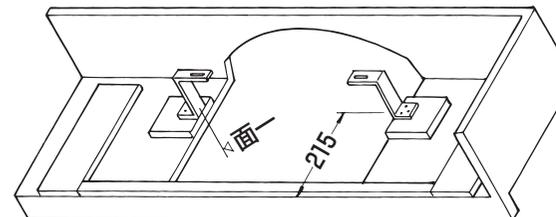
ブラケットを壁に木ねじ (φ5.8×63) で固定する

2 カウンターとブラケットの固定

(単位: mm)

洗面器固定金具の固定(L830 の場合のみ)

カウンター裏面合板に洗面器固定金具を取り付ける
※固定金具は合板と面一にしてください。



3 カウンターとブラケットの固定(→3ページを参照)

4 水栓金具の取り付け

取り付ける前に必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す

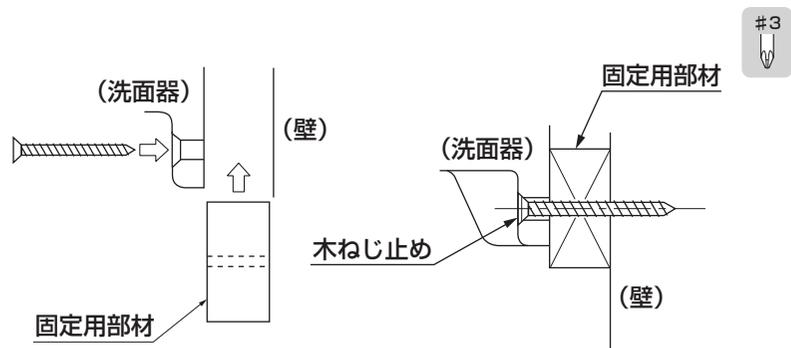
※水栓金具に同梱の施工説明書を参照ください。

5 洗面器・歯磨きボウルの取り付け

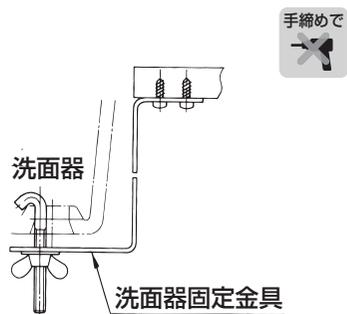
※洗面器がかかる部分のみ養生フィルムを切り取ってください。

●L830の場合

- ①カウンターに洗面器を載せる
- ②洗面器と壁との間に固定用部材を差し込み木ねじ(φ5.8×63)で下図のように壁に固定する



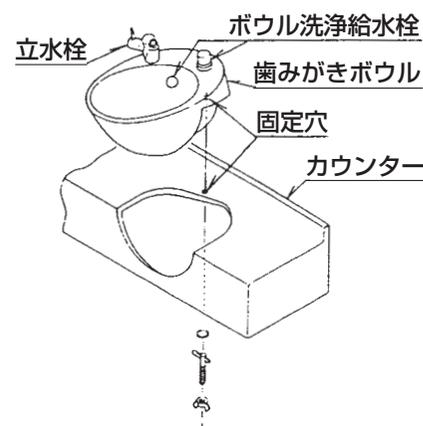
- ③洗面器固定金具の長穴よりフックボルトを入れ洗面器下部のφ21の丸穴を通して横方向へ移動させ、蝶ナットで固定する



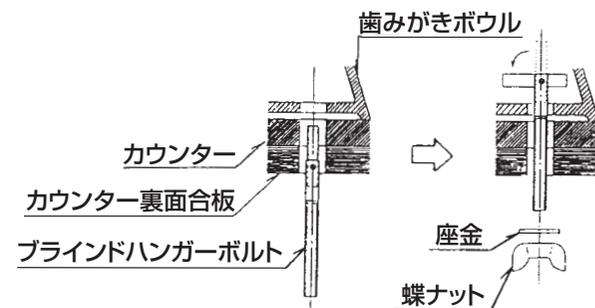
※洗面器がかかる部分のみ養生フィルムを切り取ってください。

●L595の場合

- ①歯みがきボウルに水栓およびボウル洗浄給水栓を取り付ける
(ハミガキユニット用金具(自閉給水栓・立水栓)施工説明書を参照)
- ②陶器リム面、カウンター穴部の汚れを取り除く
- ③カウンター開口部にあわせて歯みがきボウルを載せる
- ④下図のようにブラインドハンガーボルトを固定穴に差し込み、歯みがきボウルに引っ掛け、座金および蝶ナットを締め付けて固定する



ブラインドハンガーボルト取付詳細



4. 施工手順 ML35の場合(つづき)

6 止水栓および排水金具の取り付け

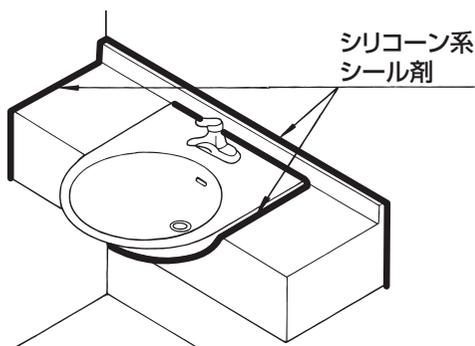
取り付ける前に必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す

※止水栓および排水金具に同梱の施工説明書を参照ください。

7 仕上げ

※すべての施工が終わった後、養生フィルムを取り除き、乾いた柔らかい布で、からぶきしてください。

※カウンターと洗面器およびカウンターが壁に接する面にシリコン系シーラントを塗布してください。



カウンターを壁に埋め込む場合

●カウンターを埋め込む分だけ養生フィルムを切り取ってから壁を仕上げてください。

※カウンター表面に残ったシリコン系シーラントはきれいにふき取ってください。

8 取付完了後の確認と清掃

※商品が壁に確実に固定されていることを確認してください。
※器具のガタツキなど安全上の不具合がないことを確認してください。
※商品についた汚れは、ぬれた布をかたくしぼってふき取ってください。その後、水を湿らせた布に少量の中性洗剤をつけてふき上げ最後にからぶきしてください。
シンナー・ベンジンなどの使用は表面の変色・変形の原因となりますので、絶対に使用しないでください。

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

5. 施工手順 MB40/50/55/60/M721/M722/M704の場合

1 ブラケットの設置

①位置決め

※ブラケットの設置(→2ページを参照)

②固定

ブラケットを壁に木ねじ(φ5.8×63)で固定する

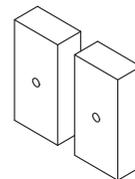
2 カウンターとブラケットの固定

カウンターとブラケットの固定(→3ページを参照)

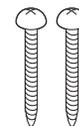
3 補強部材の固定 ※M721/M722/M704対象外

①部品の確認

次の部品があることを確認してください。



補強部材
(2個)

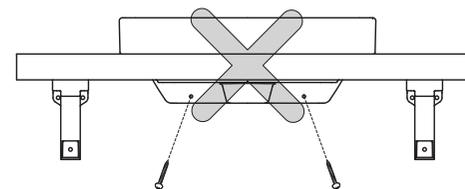


木ねじφ5.8×63
(2本)



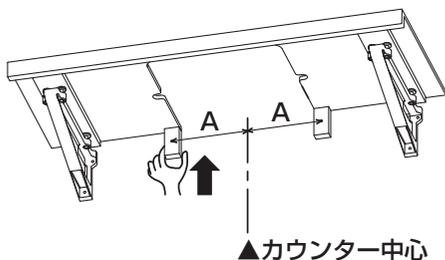
注意チラシ
(1枚)

※木ねじを洗面器壁固定に使用しないでください
カウンターセット時は洗面器の壁固定は不要です



②補強部材の位置決め

カウンター裏面に補強部材をあて、補強部材の中心を右表A寸法にあわせる



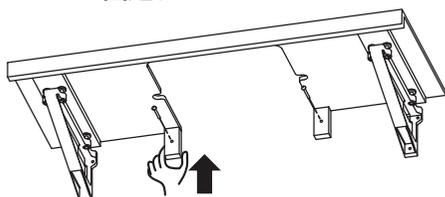
カウンター奥行き寸法	洗面器／手洗器	A寸法 (mm)
400mm	L652C(※)	185
	LS721C/CM	175
	L725(※)	185
500mm	LS703(※)	105
	LS704C/CM	190
	LS705(※)	105
	L710C/CM	225
	LS722C/CM	230
550mm	LS703(※)	180
	LS705(※)	205
	LS706(※)	230
	LS707(※)	230
	LS716(※)	210
	LS717C/CM(※)	210
	MR700(※)	110
600mm	MR710(※)	255
	L700C(※)	225
	LS703(※)	180
	LS705(※)	205
	LS706(※)	230
	LS707(※)	230
	LS715(※)	160
	LS716(※)	210
	LS717C/CM(※)	210
	LS910CR(※)	205
LS911CR(※)	285	
MR700(※)	195	
MR710(※)	255	

(※)カウンターがクリスタルの場合のみ使用します

③補強部材の固定



カウンター裏面に補強部材をあてながら木ねじ(φ5.8×63)で固定する



4 水栓金具の取り付け

取り付ける前に必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す

※水栓金具に同梱の施工説明書を参照ください。

5 洗面器の取り付け

※洗面器がかかる部分のみ養生フィルムを切り取ってください。

※取付金具または洗面器に同梱の施工説明書を参照ください。

6 止水栓および排水金具の取り付け

取り付ける前に必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す

※止水栓および排水金具に同梱の施工説明書を参照ください。

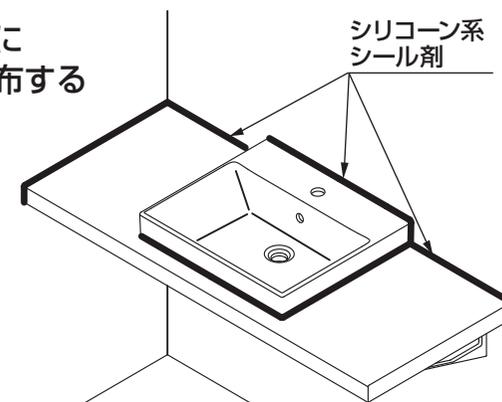
7 仕上げ

カウンターが壁に接する面にシリコン系シール剤を塗布する

※カウンターを連結する場合は、連結部についても塗布してください。

※すべての施工が終わったあと、養生フィルムを取り除き、乾いた柔らかい布でからぶきしてください。

※カウンター表面に残ったシリコン系シール剤はきれいにふき取ってください。



8 取付完了後の確認と清掃

※商品が壁に確実に固定されていることを確認してください。

※器具のガタツキなど安全上の不具合がないことを確認してください。

※商品についた汚れは、ぬれた布をかたくしぼってふき取ってください。その後、水を湿らせた布に少量の中性洗剤をつけてふき上げ最後からぶきしてください。

シンナー・ベンジンなどの使用は表面の変色・変形の原因となりますので、絶対に使用しないでください。

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。